

2023  
12  
December  
Vol.93

SNSで旬な情報を  
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



Facebook



# JA しまねびより

特集 島根県立農林大学校農業科を深掘り!



可一つけた  
しまねのファーマーズ  
Shimane farmers

三原 雅智さん  
[出雲地区本部]

JALしまね 西いわみ地区本部版



# みつけた しまものファーマーズ

Shimane farmers



三原さんに「西浜いも」を収穫していただき見せてもらいました



## みはら 三原 まさとも 雅智さん(26歳)

今月は出雲地区本部。出雲市湖陵町で「西浜いも」の栽培に取り組む三原雅智さんにお話を伺いました。

### 祖父のあとを継ぎ、 ふるさとで新規就農

出雲市湖陵町では、日

本海に面した砂丘地の地質を生かした

農業が行われてい

ます。その代表が

サツマイモ。湖陵

町かんしょ生産

組合では「紅はる

か」「紅あずま」の

2種類を栽培してい

ます。サラサラと柔ら

かく水はけの良い土地で潮風

に吹かれて育つため、甘味が深いのが特徴。「西浜

いも」のブランド名で県内外に出荷されています。

三原さんは今年で26歳。生産組合の中で最年少の

メンバーです。就農したのは令和4年のこと。三原

さんは数年前まで飲食店に勤めていましたが、コロ

ナ禍で売上に打撃を受け、将来を考えるようになった



同町特産の「西浜いも」



インタビューを受ける三原さん

たと言います。「地元の湖陵町で祖父が栽培していた『西浜いも』の農家をやろうと思いいちちました」と三原さん。退職してすぐに大田市の島根県立農林大学校に入校。農業の基本を学び「西浜いも」の栽培を始めました。

### 「西浜いも」作りを断念した 農家の畑を活用

三原さんのおじいさんが所有していた畑は30アールほどで、生計を立てるには厳しい面積。そこで、周囲で離農した人に土地を借りたり譲ってもらったりして、50アールまで作付面積を拡大しました。お孫さんの就農をおじいさんは喜んだかと思いきや「嬉しそうな様子はストレートには見せませんでしたね」と振り返ります。三原さんは「でも、土地探りに協力してくれたり、



「西浜いも」の貯蔵コンテナ兼作業場と育苗ハウス

温度管理をしながら保存できる倉庫を調達してくれたり、全休にサポートしてくれました。行動で喜びを示してくれていたように思います」と話しました。

収穫量は増えたものの、畑が複数か所にあるため手がかかるのが悩みどころ。「祖父は除草剤を使っていなかったのだから試してみましたが、草取りが本当に大変！抜いても抜いても無限に生えてくるんですよ」と苦笑い。来年に向けて除草対策を検討中です。

## 面倒見の良い先輩農家たちに支えられる日々

取材時は11月中旬で、収穫期の終盤。1月頃まで調整作業と出荷が続く、2月に入ると育苗が始まります。4月は苗の出荷と畑の土づくり、5〜6月は植え付け、夏は除草と、一年を通じて忙しく過ごしています。趣味は自動車で、サーキットでのモータースポーツ観戦やドライブがリフレッシュタイムですが、最近はなかなか時間が取れていないそうです。



重量を量り規格ごとに仕分ける三原さん

就農をサポートしてくれたおじいさんは病に倒れ、今年はじめに逝去。そのため、現在はほとんどの作業を一人で行っています。三原さんは「もつと一緒に農業をやりたいかった。教えてもらいたいことがたくさんあったのに。祖父がいなかったのが一番の困難かもしれません」と話しました。

就農2年目のルーキーである三原さん。まだわからないことも多く、畑に起こっている小さな異変に気づけないこともあるそう。そんなとき助けてくれるのが生産組合のみなさん。生産組合の集まりで相談に乗ってくれるだけでなく、畑に立ち寄ってアドバイスしてくれることも多いと言います。三原さんは「農家さんそれぞれ経験に基づいた独自の流儀があるため、多様な意見を吸収して成長していきたいです」と語ります。

## 「西浜いも」の魅力を広く発信し、仲間を増やしたい

やりがいを感じるのには、形の良い「西浜いも」が収穫できた瞬間。今年は猛暑の影響かやや小ぶりですが、まずまずの出来のようです。JAへの出荷と近隣の飲食店に卸す以外に、町内にある収穫シーズン限定の産直市場「どんとこい市場」でも販売。店内では焼きいもの調理も。焼き立てを食べたお客さんにおいしいと言ってもらえると「農業をやっていたよかった」としみじみ感じるそうです。

新たに開墾する土地を確保し、来年は70アールに拡大する予定。意欲に燃えつつ「西浜いも」生産の担い手として使命感も抱いています。「湖陵町も他の地域と同様に、農家が年々減っています。離農される方の畑をなるべく引き継いで、『西浜いも』を

絶やさないようにしたいと思っています。一人では難しいので、仲間を増やしたいですね。そのために農業の面白さを発信したいです」と意気込む三原さん。「西浜いも」の、そして湖陵町の農業の広告塔になるべく、市内のイベントや祭りなどにも参加し、魅力をPRしています。



来年に向けて拡大準備中の畑

プチっと情報!

## 西浜いも

「西浜いも」はとろけるような甘さと繊維質が少なくなめらかな食感が特徴！味付けなしで食べるのがおすすめ🍀三原さんお気に入りの食べ方は天ぷらと焼きいもだそう😊この機会にぜひ購入し、お試しください♪



# 農業科を深掘り!

島根県立農林大学校は、農林業を専門的に学ぶ学校で、農業の研修教育施設として昭和10年に前身となる道場が設立されたのが始まりです。

大田市に拠点を置く農業科には2年制の「有機農業専攻」「野菜専攻」「果樹専攻」「肉用牛専攻」及び1年制の「短期養成コース」があり、現在86人が農業技術や経営などについて学んでいます◆

今月号は、そんな次代の島根県農業をリードする期待の星たちが集う“島根県立農林大学校農業科”について深掘りしていきます。



野菜専攻の  
学生の皆さん

## 実習を重視したカリキュラムで 実践的な人材を育てる

島根県立農林大学校の最大の特徴は、就農を見据えた実習を重視した実践教育。午前は座学で基礎から専門的な知識を習得し、午後は座学で得た知識を基に作付から出荷まで学生が主体的に行う実習に取り組んでいます。

また、同校は全国に先駆けて有機農業を専門的に学ぶ「有機農業専攻」を設置しました。その他にも、社会人経験者を対象にした「短期養成コース」、自営就農を目指す2年生を対象にした「就農準備コース」など、時代やニーズに合わせた研修内容を取り入れ学ぶ環境を整えています!

### ↑ここに注目!↑ 「短期養成コース」

農業科には2年制の4専攻とは別に、1年間で農業経営者に必要な知識と技術を学ぶことができる「短期養成コース」が設けられています。

社会人経験者など県内での自営就農が明確な方を対象としたコースで、卒業後すぐの就農に向けて安心して学べます。自身の就農ビジョンに合わせて必要なカリキュラムを選び、一人一人に合った知識と技術を習得できることが特徴です。

### 農業に必要な 資格・免許の取得を支援

学生の希望に合わせて、計画的に資格・免許が取得できるよう支援しています!たとえば…

- ・フォークリフト運転技能講習
- ・車両系建設機械運転技能講習
- ・けん引免許
- ・狩猟免許(わな猟)
- ・家畜人工授精師
- …などなど

### ほとんどの学生が 島根県の農業を担う職業へ

卒業後の進路は、自営就農や雇用就農、JAなどの農業団体や農業関連企業への就職などさまざま。近年は、自営就農と雇用就農へ進む学生が増加傾向にあり、令和4年度の卒業生では8割を占めています。また、雇用先で数年間技術や知識を学び、独立して自営就農を目指す学生も増えています。

在学中に、関係機関を集めた就農ガイダンスや2年次に行う長期インターンシップなどを通じて自身が目指す将来像を明確にすることで、学生が希望する就農・就職を支援しています。

# 島根県立農林大学校

## 農林大の一日

## 学校生活を深掘り!

8:50~10:20

10:30~12:00

12:00~13:20

13:20~14:50

15:10~16:40

~17:00

午前には講義中心

昼休み・課業準備

午後は実習中心

課業整理



JALまねの青年組織「島根県農協青年組織協議会」による講義も実施。役員らが農業者・経営者の先輩として経験談や組織活動などについて熱く伝えます🔥



農大祭がとにかく楽しい!

授業の他にも、毎年7月に行われる農大祭や中国ブロックの農大生との交流会、スポーツ大会などなど学生主体の行事が盛りだくさん🌟今年、4年ぶりに通常開催した農大祭では、学生が育てた農畜産物の販売や模擬店などを実施。農大祭を待ち望んでいた大勢の人が訪れ大盛況だったそうです😊また、敷地内には寮や食堂を完備。充実した学校生活が送れます!



和牛肉の販売も大人気♥



## 学生の声

果樹専攻 2年  
ふじはら かなと  
藤原 叶翔さん (20)

祖母がブドウや野菜を栽培する農家で、まずは高校3年間で野菜について学びました。進路先を考えているときに農大のパンフレットを見て、学んだことのない果樹について勉強してみようと思い入学を決めました。

現在は、卒業研究のテーマにしているシャインマスカットの摘粒方法について研究結果のまとめ作業をしています。農大で楽しいと感じるのは、機械が好きなのでさまざまな機械に触れられること。資格もたくさん取りました。

卒業後は、雇用就農をする予定です。将来的には自営就農を目指していますが、数年間は働きながら技術力を高め、祖母の持つブドウハウスを修繕したり、樹を改植したりしていきたいです。

祖父母が有機農業に取り組む農家で、自分が継ごうと農大に入学しました。

有機農業専攻では、農薬を使わず病害虫被害を回避する方法や有機質資材を使った作物の栽培方法などを学びました。この2年間でピーマンやキュウリ、ナスなど10品目くらい栽培しましたが、やっぱり収穫する時は達成感があって楽しい瞬間ですね。

卒業後は、祖父母のいる雲南市で自営就農します。有機農業で良い野菜を作ることはもちろん、関係機関や地域の方にもたくさんお世話になるので、コミュニケーションを取りながら良い関係性を築いていきたいです。

有機農業専攻 2年  
ごうはら りゅうと  
郷原 龍人さん (19)



## 島根県立農林大学校からのお知らせ

島根県立農林大学校の令和6年度一般入試の募集が始まります。将来就農を目指している方、農業を学びたい方の出願をお待ちしています😊

### 令和6年度一般入試概要

- 募集人数及び修業年限/農業科: 20名程度・2年制4専攻(有機農業、野菜、果樹、肉用牛)  
・1年制短期養成コース

林業課: 10名程度(2年制)

- 出願期間/令和6年1月5日(金)~1月25日(休) 17時必着
- 入学試験/日時: 令和6年2月13日(火) 9:30~16:00  
場所: 島根県立農林大学校本校(大田市波根町970-1)  
内容: 筆記試験(志望理由書、一般教養、小論文)及び面接試験  
※志望理由書は出願時に提出、短期養成コースは一般教養試験は行わない
- お問い合わせ/島根県立農林大学校 TEL: 0854-85-7012

入試情報の詳細はこちらから



農業の基礎から経営者として必要な知識・技術までしっかり学べます!



島根県立農林大学校  
角森 章子 校長

JAしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、JA自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を  
聞きたい

# 組合長が行く！



今月の  
訪問先

JAしまねいわみ中央地区本部管内

- 株式会社小松ファーム
- 石橋園芸・石橋農園



巡回の様子を収めた動画はコチラ



小松ファームのコマツナ

今回は、株式会社小松ファーム、石橋園芸・石橋農園を石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。小松ファームは、浜田市弥栄町で有機JAS認定を取得したハウス58棟や露地で小松菜やホウレンソウなど有機葉物野菜を中心に栽培されています。代表取締役の小松原修さんとは、地元である弥栄町を想い就農したことや有機野菜の販売環境の変化、有機栽培における害虫の駆除方法、物流の2024年問題などについて意見を交わしました。また、昨年からは、新たにニンジンの露地栽培に挑戦。県内にニンジン産地がなく、給食やスーパーは県外から仕入れていることに着目し、労力が少ないことから試験的に始めました。今年からGPS搭載の機械を導入し、本格的に栽培されることをお話いただきました。



ハウスで集合写真を撮影



小松原さん(右)から有機農業について説明いただきました



活発に意見を交わす進さん(左)と石川組合長(右)



進さん(左)と隆弘さん(右)から同園芸・農園の概要についてお話いただきました



ハウスで集合写真を撮影

石橋園芸・石橋農園は、同市金城町で園芸を父親の石橋進さんが、農園を息子の石橋隆弘さんが経営されています。同園芸・農園は、寄せ植え用として人気が高いガーデンシクラメンや島根県アジサイ研究会の一員として島根県オリジナルアジサイ5品種、野菜・花苗などを生産しています。進さんと隆弘さんには、各品目の出荷スケジュールやアジサイ栽培を始めつきっかけ、ハウスを増設中であることなどを説明いただきました。また、JAの依頼でキャベツや県オリジナル野菜「あすっこ」の苗づくりを受託していることに触れ、隆弘さんは「自己負担で資材を準備しているため、余剰苗に対して助成があると助かる」と話されました。



topics  
1

## 令和5年度島根中央子牛共進会を開催

12  
つなぐ未来  
つながる

J Aしまねは11月2日、松江市の島根中央家畜市場で令和5年度島根中央子牛共進会を開催しました。県内東部地区から選ばれた【しまね和牛】雌子牛39頭が出品され、改良の成果や生産者の飼養管理技術を競い合いました。

子牛は月齢順に第1区と第2区に区分。各区の首席から選ばれるグランドチャンピオンには雲南市の藤原英利さんの出品牛「ゆり」号が、第1区の首席には安来市の倉井公子さんの出品牛「ひみさくら4」号が輝きました。

グランドチャンピオンの「ゆり」号は第2区に出品。同区の審査主査を務めた全国和牛登録協会島根県支部の小林健宣支部長は「体ののびやかさや体上線、横からみた各部位のなめらかさなど均称面が抜群で理想的な発育だった」と講評しました。藤原さんは「初めての出品でグランドチャンピオンとなり驚いている。関係者の皆さんの支えや指導のおかげです」と話しました。



グランドチャンピオンに輝いた「ゆり」号と藤原さん（左）

その他の主な受賞者は次のとおり。

- ◆ 第1区▽次席 = 堀江一夫（雲南市）▽三席 = 勝田律江（奥出雲町）  
▽四席 = 吉川重義（奥出雲町）▽五席 = 大塚寛之（飯南町）
- ◆ 第2区▽次席 = 渡部雅弘（飯南町）▽三席 = 柴田慎二（安来市）  
▽四席 = 山田多美子（飯南町）▽五席 = (農)錦織ファーム（雲南市）

topics  
2

## 持続可能な農業・農村の実現と食料安全保障の強化へ緊急集会を開催



島根県農政会議とJ A島根中央会は11月8日、出雲市のラピタウェディングパレスで持続可能な農業・農村の実現と食料安全保障の強化に向けた緊急集会を開きました。県議会議員や農政会議役員、J Aしまね役職員ら約180人が参加。農業者代表者らが現場の現状や国に対する意見・要望を訴え、食料・農業・農村基本法と関係施策の具体化に向けて意思集結を図りました。

当日は、J A全中農政部農政課の高塚明宏調査役が情勢報告として、同法の見直しに向けたJ Aグループの取り組みを報告。その後、3人の農業者が意見表明しました。

島根県農協青年組織協議会の古川敬会長は「自助努力では乗り越えられない課題に対し、国は現場の声をしっかり反映させ早急に構造転換を図ることが必要だ」と表明。同協議会の伊藤慎治副会長は「10年、20年を見据えて農業者が夢と希望を持って営農活動を続けていける方向性を示してほしい」と訴えました。

島根県畜産女性ネットワークの砂流裕美子代表は「私たちが作る農産物の価格は誰が上げてくれるのか」と先行きの見えない現状を伝えました。

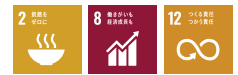
J Aしまね女性部の高橋美佐子部長が集会宣言を読み上げ、参加者は満場の拍手で採択しました。



集会宣言する高橋部長

topics  
3

## 5県集落法人等連絡協議会サミットを開催



大分、高知、広島、山口、島根県の集落営農法人などの県協議会は11月9日、益田市で「集落営農法人の役割と必要性～ひとづくり・ものづくり・ちいきづくり～」をテーマに令和5年度5県集落法人等連絡協議会サミットを開きました。各県の集落営農法人や関係機関ら約230人が参加し、持続可能な集落営農の実現に向け各県の先進事例を共有しました。

事例発表では、島根県からは邑南町の農事組合法人ファーム布施が、集落行事を通じて農繁期の労働力を確保する体制を整えたことを報告。地元住民や転出者らを支えた田植え後の懇親会、収穫祭、研修会などを開くことで世代間の交流と郷土愛を深め、農地の維持管理への理解も促していると伝えました。

また、国への提言も採択し、提案事項には経営規模が小さい法人が雇用創出や所得拡大に向けて広域連携組織を設立する際の支援などの20項目を盛り込みました。1月に農水省へ要望する予定です。

翌10日には、1987年に全国初の集落営農型法人として設立した津和野町の農事組合法人おくがの村を視察した他、東京大学大学院の鈴木宣弘教授による特別講演も行いました。

島根県集落営農・法人ネットワークの糸賀盛人会長は「中山間地域を守らなければ、日本の農業と食料は維持できない。地域現場から訴えていきたい」と力を込めました。



事例発表をするファーム布施の松崎寿昌理事

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

## 隠岐女性部

「JAしまね隠岐女性部は、現在6名の部員が一致団結し「楽しく・やる気!」を合言葉に活動に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、女性部活動も徐々に以前の姿を取り戻しつつあります。

最近の活動では、道の駅ごいせ仁摩や石見銀山資料館、大田市大森地区での研修旅行を実施しました。農業生産や販売活動の知識習得の他にも、各地域を守り発展させていく取り組みについて学びました。研修旅行で得たことをSDGsの活動につなげていこうと部員一同、気持ちを高めました。

また、年3回開催される隠岐家畜市場では、少しでも隠岐の郷土料理を知ってもらいたいという気持ちから、市場関係者の皆さんへ隠岐の食材をふんだんに取り入れたお弁当を作っています。

今後も、隠岐女性部の活動を広く知ってもらうことで新しい仲間を増やし、新型コロナウイルス感染症の対策もしながら活動していきたいと思えます。

仲間と・地域と・他組織と・次代と

JA女性組織3カ年計画  
「JA女性 想いをひとつに かなえよう」  
の実践2年目です。

つながろうみ まもろうみ かかわろうみ

の3つの具体的目標を掲げ活動します。



一所懸命青年連盟

## JAしまね出雲青年連盟

JA YOUTH

いまがわ じゅんぺい  
今川 順平さん



地産地消に取り組み、  
農業を通じて、  
地域に貢献して  
いきたい

JAしまね出雲青年連盟佐田支部（以下、農青連）に加入している今川順平さんは、父親とともに出雲市佐田町で黒毛和牛の繁殖牛21頭を飼い、牛のひづめの手入れを行う削蹄師もしている畜産農家。生まれた子牛を9か月程度飼育し、子牛市場で肥育農家や繁殖農家へ販売しています。

削蹄師は県内ではおよそ10人程度と少なく、削蹄を行うために県外から島根に来る人もいるなど貴重な存在となっています。

牛がとても大好きだという今川さんは「物心ついた時から自宅には牛がいて、学校から帰るとすぐに牛舎へ行って牛を撫でたり、エサをあげたりしていました。牛がない生活は考えられないくらいです」と語りました。

現在は佐田支部の盟友として、農青連活動に積極的に参加しています。今川さんは「若手の農家が少ない中ですが、活動を通して盟友との関係を深め、助け合える仲間を増やしていきたいです」と話しました。



# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 菜園の土壌管理

## 野菜の種類に合わせた土づくり

家庭菜園では多くの種類を栽培しますので、それぞれの特性に合わせた土壌管理が必要です。

### 連作と輪作

同じ土地に同じ野菜を連続して作ることを連作といいます。しかし、連作すると生長に障害が出る野菜があります。連作障害の原因は多様ですが、病害によるものが最も多く、次いで土壌の悪化によるものとなっています。

エンドウは一度作ると、7年は作れません。トマト、ゴボウなどは5、6年、インゲンマメ、サトイモなどは3、4年、キュウリ、ホウレンソウなどは1、2年です。カボチャ、タマネギ、サツマイモのように連作しても障害の出にくい野菜もあります(表1)。

同じ科に属する近縁な野菜は似た性質を持っているため、病害虫と肥料の吸収が共通しています。そのため、連作すると土に生息する病害虫が増え、微量でも必要な肥料成分が不足して生長を妨げることがあります。

そのため特性の異なる野菜を上手に組み合わせた一定の順序で作付け(輪作)をしましょう。

### 野菜の適性酸度

雨が多い日本はカルシウム(石灰)やマグネシウム(苦土)が流れやすく、酸性土になりがちです。野菜の生育に適した弱酸性(pH 6.0~6.5)とするためにカルシウムとマグネシウムを含む石灰資材を投入

します。酸性土が改良されると土壌微生物の働きが活発となって、有機物の分解を早める効果もあります。

野菜の種類によっては酸性を好むものもあり、野菜の種類に適した酸度(pH)に調整することが大切です。ジャガイモ、スイカはpH 5.0~5.5でよく育ちます。一方、ホウレンソウ、タマネギは特に酸性に弱く、発芽してもしばらくすると枯れてしまいます(表2)。酸性土壌ではアルミニウムイオンが溶け出し、ホウレンソウなどの根を阻害するからと考えられています。

### 酸性土壌の矯正

土の酸度を調べる診断キット(図1)や、土に直接差し込んで測定する土壌酸度測定器があります。石灰資材を過剰に与えると微量元素の吸収を妨げる恐れがあるため、測定値に応じた石灰資材を施します。施用量は土壌の種類によって異なりますが、一般的にpHを1上げるには粒状の苦土石灰では1平方m当たり150~200gです。なお、石灰資材は窒素肥料や窒素分の多い堆肥と一緒に施すと、アンモニアガスが発生し、窒素分が逃げてしまいます。そのため石灰資材と窒素肥料を同時に与えてはいけません。種まきや植え付け2週間前に石灰資材をまいてよく土と混ぜておき、1週間前に化成肥料と堆肥を施用します。

表1 野菜の休載年数

連作障害の出にくい野菜	休載年数(目安)
カボチャ、タマネギ、ニンニク、サツマイモ	1,2年
キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ラッカセイ、ジャガイモ	3,4年
インゲンマメ、サトイモ、ナガイモ	5,6年
トマト、ハクサイ、ゴボウ	7年以上
スイカ、ナス、エンドウ	

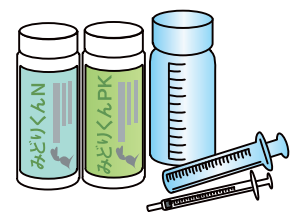
平野暁「作物の連作障害」(農文協、1985年)より引用、一部改変

表2 酸性に強い野菜と弱い野菜(例)

種類	酸性への適応性	pH(目安)
スイカ、ジャガイモなど	酸性に強い	5.0~5.5
インゲンマメ、スイートコーン、ダイコン、サツマイモ、サトイモなど	酸性にやや強い	5.5~6.0
キュウリ、トマト、ナス、エンドウ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジンなど	酸性にやや弱い	5.5~6.5
ホウレンソウ、アスパラガス、タマネギ、ゴボウなど	酸性に弱い	6.0~7.0

藤原ら「新版土壌肥料用語辞典」(農文協、1998)などより作成

図1 土壌診断キット



## 理事会情報 (10月30日開催)

### 【協議事項】

- ①西いわみ地区本部 葬祭利用料変更に伴う葬祭会館及び葬祭具利用管理規定の改定について
- ②職制規定の一部改正について
- ③令和5年9月末決算について

- ④「マナー・ロンダリング等への対応に関する規則」等の一部改正について
- ⑤出資口数の減少(減口)の承認について
- ⑥行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について



## 益田メロン栽培50周年記念式典

益田メロン部会（大場尚俊部会長）は11月21日、高津町のサンパレス益田において山本浩章益田市長をはじめ市場関係者など多くの来賓を迎え「益田メロン栽培50周年記念式典」を開催しました。

式典には部会員のほか、歴代の部会長や部会員としてメロンの生産に携わってこられた方も出席し、これまで共に研鑽を重ねた50年の歩みを振り返りました。

昭和47年、栽培に向けた研修に始まり「益田市農協メロン部会（渡辺巖当時部会長）」を結成。昭和63年の農協合併と同時に「益田市農協促成メロン部会（眞庭勇二当時部会長）」が発足、先駆者の弛まぬ努力で半世紀の時を経て現在の「益田メロン部会」の礎が築かれました。

開式後、大場部会長から市場関係者をはじめ関係機関に対するお礼の挨拶の後、担当職員が50年の歴史を振り返るスライドによる報告を行い、これまで益田のメロン生産に多大な貢献をいただいた市場、種苗、肥料、養蜂関係者並びに渡辺、眞庭当時の両部会長に大場部会長が感謝状を贈呈しました。

来賓を代表して山本市長にご挨拶をいただき、続く大阪中央青果株式会社片山博信専務からは「益田のメロンは販売努力をしなくても確実に売れる。この先70年100年と生産を継続していただきたい」と挨拶がありました。続いて栽培を始めて8年の若手部会員山本仁成さんが、将来に向けた決意表明を行い、最後に園芸植物育種研究所による記念講演で第一部の式典を終了しました。



山本仁成さんの決意表明



大場尚俊部会長





## J Aしまね西いわみ地区本部年金友の会「寿ロード」

J Aしまね西いわみ地区本部は11月1日から1泊2日の旅行、年金友の会「寿ロード」を実施しました。

天候にも恵まれて4年ぶりの開催となったこの企画に、管内各地から111人の会員の方に参加いただき、大型バス3台に分乗し広島県・愛媛県内の観光地を巡りました。



寿ロードに毎年のように参加していただいていた会員の方からは「この旅行を心待ちにしていたので本当に嬉しい」と、バスの中での会話や宿泊先での宴会も盛り上がり、久しぶりの会友との旅行を満喫していただくことが出来ました。





## JAしまね年金友の会津和野支部 第3回年金受給者大会開催

JAしまね年金友の会津和野支部（齋藤勲支部長）は10月26日、津和野町民体育館において第3回年金受給者大会を開催しました。

4年ぶりの開催となったこの日は、開会1時間前から受付を待つ会員の方もあり、大会出席者数は150人近くに上りました。

開会にあたり齋藤支部長は「突如として発生した新型コロナウイルス感染症で、3年間の中止を余儀なくされてきたが5類への移行によって今日を迎えることができた。我々会員の年金振込総額はおよそ9億6千万円で津和野支店の貯金量の約1割を占める状況となっている。ここ津和野支店がJAしまねの1支店としてあり続けるためにも貯金量を維持向上していく必要がある。一人でも多くの方に年金振込をJAに指定いただくようお願いをいただきたい」と挨拶しました。

来賓を代表して地元選出の中村芳信県議会議員にご挨拶をいただいた後、津和野支店竹長隆支店長が活動報告を行いました。一部が終了しステージ上ではアトラクションが始まり、最初に登場したザテレーグレースには中村県議もメンバーの一人として出演、懐かしい数々の名曲が演奏されバンドをバックに歌声の披露もありました。

休憩後、津和野町在住のアゴステイニ・マリアノさんによる音楽演奏を聴きながら静かなひと時が流れ、アトラクションの最後には石見神楽「恵比寿」「八岐大蛇」が上演され、お馴染みの演目に会場の参加者からは大きな拍手が沸き起こっていました。最後に閉会の挨拶を中村力理事が行い全日程を終了しました。





## 津和野町に新たに14番目の法人が誕生しました

津和野町中原地区の法人設立発起人会は11月16日、同町中原集会所において農事組合法人なかばらの創立総会を開催しました。

開会にあたり発起人を代表して米原孝男さんが「ここは農業を中心に暮らしてきた集落で、近年の少子高齢化によって景観を含めた維持存続が危惧される状況となった。集落の存続は住民の力で考え行動していくことが重要と考え、将来的に地域を守るためにも本日の創立総会開催に至った。

元々集落の行事は集落全員で行うこととしてきた。今後は非農家も含めた集落全員での組織運営が重要なポイントとなる」と法人立ち上げに至った経緯を含めて挨拶を行いました。

議長に選任された村田三男さんによる議事進行で、全ての議案が満場一致で可決承認され、代表理事には米原孝男さんが就任しました。

最後に来賓として出席したわくわくつわの協同組合の糸賀盛人代表から「同じ町内の法人として共に協力して頑張りましょう」と挨拶があり、構成人員22人、経営面積約10ヘクタールの農事組合法人「なかばら」がスタートしました。



## 西いわみ農政協議会 通常総会

西いわみ農政協議会（齋藤一栄会長）は11月18日、西いわみ地区本部にて第19回通常総会を開催しました。

齋藤会長は冒頭、「昨今の農業を取り巻く状況は厳しさを増している。農政協議は互いに協力し、一つの運動体として政策の指標を示す存在であり続けなければならない」と挨拶しました。

来賓として高見康裕衆議院議員を迎え、令和4年度の活動報告や令和5年度の事業計画について協議しました。

また、役員改選では新たに津和野町農政協議の永田寿秋さんが会長に就任しました。

総会後は高見議員による国政報告会を行い、中山間地域が抱える問題について活発な意見交換が行われました。



## 益田市農政会議 農政懇談会を開催

益田市農政会議（岩本和雄会長）は11月13日、JAしまね西いわみ地区本部大会議室において、益田市議会農政研究会（林卓雄会長）と農政懇談会を行いました。

この懇談会は毎年、支部の意見を集約した上で農業者が抱える課題点等について報告し、農政研究会議員の皆さんから意見提案等をいただくキャッチボール方式で行われてきました。



この日は農政研究会の市議12人、正副会長・監事、JA事務局が出席し平成29年に制定された「ますだ食と農の市民条例」に定める「ますだ食と農の基本計画」の進捗状況を議題としました。

オブザーバーとして出席いただいた益田市農林水産課橋本秀治課長から、条例で構成する五つの基本計画の成果指標について報告を受け、現状について意見交換を行いました。

## 津和野町農林業問題研究集会



津和野町農政会議（永田寿秋会長）は11月20日、津和野温泉なごみの里において、下森博之町長、中村芳信県議会議員、草田吉丸町議会議長をはじめ町の職員、町議会議員も出席し津和野町農林業問題研究集会を開催しました。

開会前に津和野町農政会議・JAしまね西いわみ地区本部連名による「令和6年度津和野町農業関連政策・予算に関する提案・要請書」を下



森町長、草田議長に手渡しました。

開会にあたり永田会長は肥料等資材価格の高騰に触れ、生産現場における厳しい現状を訴えた後「今回は要請書にも記載した後継者・担い手対策と、有害鳥獣対策の2点を重点事項として意見交換をお願いしたい。生産組織がこうして一堂に会して行いう貴重な意見交換会でもあり、課題のみならず各組織独自の対策等仲間内での意見を話し合うことも重要」と挨拶しました。

来賓あいさつの後、11月16日に新設された農事組合法人なかばらの米原孝男代表により設立に至った経緯等について紹介がありました。

意見交換会では、生産現場における後継者問題、地産地消を含む地元農産物の取り扱いや畜産農家の現状、有害鳥獣対策（熊対策）等について意見があり、行政側からは可能な取り組みや提案を行うなど、今日農林業が抱える課題を共有する貴重な研究集会となりました。



## わくわくつわの協同組合が学校給食へ新米を贈呈 (今年で6年目)

わくわくつわの協同組合（糸賀盛人代表）は11月1日、津和野町中山の農事組合法人おくがの村の事務所前で、津和野町教育委員会岩本要二教育長をはじめ町内の小中学校長、PTA役員、本部小学校の全児童を招き学校給食用の米30kg104袋の贈呈式を行いました。

岩本教育長は「今年もわくわくつわの協同組合の生産者の皆様から、町内の小中学校の児童・生徒に地元で取れた安心安全な学校給食用米を提供いただき有難うございました。こうした取り組みを通して生産者の思いを感じ、故郷への想いを育んでいくことでふるさと教育へと繋がっていく。わくわくつわの協同組合の皆様改めて敬意と感謝を申し上げます」と挨拶があり、同席した学校関係者全員でこれ



わくわくつわの協同組合のモットー「役には立つが、邪魔にはならない組織」

までの感謝と「来年もよろしくお願ひします」とお願ひがあり組合員から笑い声がこぼれていました。最後に児童の皆さんからお礼の「ふるさと」の歌が始まり、参加者全員で合唱し、贈呈式を終了しました。



## 黄玉柚子初出荷・搾汁作業が始まる

益田市を代表する美都町の特産品柚子の出荷が11月1日から始まり、翌日から搾汁作業を開始しました。

美都町柚子生産者組合（齋藤正明組合長 組合員97人）では、夏以降着果状況の確認等を行い、昨年より1週間早い11月1日を初出荷と決定しました。

初日には3トンの出荷があり2日目の出荷分と合わせて6トンの黄玉柚子の搾汁を行いました。

J Aしまね西いわみ地区本部営農経済部指導販売課では、最も出荷が集中する時期を11月20日頃と想定しております。このピーク時の日量を15トン、12月中旬の荷受け終了までの総出荷量を170トンと見込んでいます。





## J A 農業文化祭

J A しまね六日市支店（森本司支店長）は10月21日、吉賀町真田のよしかみらい（旧六日市学園）を会場に、女性部をはじめ農政会議など地元組織の協力のもと「J A 農業文化祭」を開催しました。

天候にも恵まれたこの日は、地元の皆さんによる特産品コーナーや販売テントが多数並び、来場された方は店頭で足を止めては興味深く商品を手にしたり、勧められた試食品を口にするなどして、希望される品物を買って求めています。

また隣地にはサッカー場も整備されており、サッカーキッズが試合形式の練習に励んでいました。

この日は地元六日市支店・柿木事業所の職員のみならず地区本部職員も一



緒になって様々な工夫を凝らした店舗や、金融相談コーナー、農機具展示コーナーを開設し、来場いただいた方へ日頃の感謝の気持ちを伝えました。



## J A しまね匹見事業所まつり開催

J A しまね匹見事業所（片廻篤志所長）は10月29日、事業所駐車場周辺を会場に事業所まつりを開催しました。この日は好天に恵まれ、訪れた地元の人たちも昨年までの12月開催に比べて、温暖な中での開催を歓迎していました。

来場者にはもれなくほうれん草（1袋）がプレゼントされ、綿菓子・ポップコーン・コーヒーなども希望者へ無料で手渡されていました。また、ぜんざい（片廻家秘伝）や豚汁も振舞われ匹見事業所を挙げて日頃の感謝を伝えました。隣接する集荷所内では、地元野菜や加工品、牛肉の販売も行われ多くの来場者で賑わいました。

道川神楽社中による全ての演目終了と同時に、最後まで会場



過ごしていただいた全ての方がクジを引き、西いわみ地区本部の特産品や様々な景品を受け取っていました。

中でもアールスメロン1箱（8kg）に見事当選された方には大きな歓声が沸き起こっていました。





## 米贈呈（津和野・日原）

津和野町の青木和憲さんは食育の一環として、所有する水田で収穫した「つや姫」を11月7日に津和野町営英語塾「HAN-KOH」へ、11月17日は津和野町営塾「日原」へ贈呈しました。贈呈されたお米は同塾へ通う生徒に夜食として振る舞われる予定です。青木さんは「最近はお米の消費が減っているが、ごはんをしっかり食べて勉強して下さい」と語りました。生徒たちは「今年もお米をいただき、ありがとうございます。しっかりと食べて勉強します」とお礼を述べました。お米の贈呈は毎年行われ10年目になるといふことです。



## J A 女性部役員と J A 地区本部 幹部職員が意見交換会を実施



J A しまね西いわみ女性部（元岡タツ子部長）は10月23日、J A しまね西いわみ地区本部会議室において地区本部各部門の部長・支店長との意見交換会を行いました。進む生産者の高齢化対策や、グリーンセンターの展示即売会の日程・決済に関する事項、各支店に希望する改良点や提案が多数意見として挙げられました。また今年5月にスタートした移動スーパー「とくし丸」に関しては「大変助かっている」「商品も新鮮で喜んでいいる」などの意見があり、各部門の部長・統括支店長が説明回答を行いました。内部で協議・検討を要する意見もあり、今後の事業方針策定に向けて貴重な意見交換会となりました。

## J A しまね西いわみ女性部美都支部 おもてなしの会

J A しまね西いわみ女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は11月7日、美都町仙道の東仙道公民館で「おもてなしの会」を行いました。

このミニデイサービスは、80歳を迎えられた女性部会員を慰労する会として昨年から開催しており、この日は支部会員のほか J A しまね益田東支店の大庭伸次支店長も出席し、簡単なクイズ形式のゲームや各自の近況報告、J A への要望等意見交換を行いました。

昼食には部員の皆さんによる果物や野菜を添えたカレーライス・デザートが用意され、参加者全員で食事をして楽しいひと時を過ごしました。



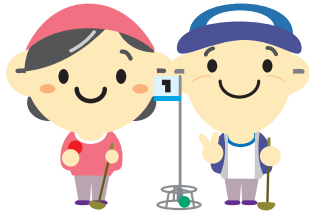


## 第9回JAしまね西いわみ地区本部 年金友の会益田地区親睦グラウンドゴルフ大会

JAしまね西いわみ地区本部は11月14日、益田市美都町のひだまりパークみとにおいて第9回年金友の会益田地区親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。

岡崎正照益田支部長の開会挨拶の後、競技上の注意点等説明が行われ、24グループに分かれ一斉にスタートし3ラウンドの合計点で成績を競いました。

前日の降雨によって肌寒さを感じたスタート前に比べ、プレーを重ねるごとに汗ばむほどの気温となり、40本以上のホールインワンショットで高スコアも続出。最高のコースコンデイションで迎えられたこの大会を満喫していただくことができました。



岡崎正照益田支部長



左から、準優勝の新井英博さん、優勝の岡元文人さん、3位の石川智恵子さん



## 津和野地域老人クラブ グラウンドゴルフ大会

津和野地域老人クラブ連合会（齋藤勲会長）は10月23日、なごみの里グラウンドゴルフ場で健康推進活動事業として「第25回グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

透き通るような秋晴れの下、集中したプレーの中にもお互いに親睦を深め、大会の参加者70人は楽しいひと時を過ごしました。

齋藤会長は「今年も天気が良く皆さんに楽しんでもらえた。みなさんの健康のためにこれからも続けていきたい」と話しました。





## 西部地区子牛共進会

J Aしまねは10月27日、益田市遠田町の西部家畜市場において令和5年度西部地区子牛共進会を開催しました。

西いわみ地区本部管内から10頭、いわみ中央地区本部管内から6頭の子牛が出品され、板倉悟審査長（島根県西部農林水産振興センター川本家畜衛生部長）らの入念な審査によって順位が確定し、優秀賞主席には、金城町の大崎善夫さん生産の「ふじゆき号」が選ばれました。

全国和牛登録協会島根県支部小林健宣支部長の審査講評では、「月齢による個体差はあるものの、全ての出品牛が理想的な発育で良い状態に仕上がっている」として今後の成長に期待する旨の報告がありました。優秀賞次席から5席までは次の通りです。

次席	ひろさかえ33号	(株)田原牧場	益田市	
3席	みとつじ号	河野 健輔	美都町	
4席	つくし号	佐々木美恵	益田市	
5席	おりひめ1号	(株)京村牧場	津和野町	部位賞同時受賞



### 11月西部子牛市場成績 (税込)

(単位: 円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市 (益田)	雌	34	781,000	140,800	464,933	290
	去勢	55	823,900	160,600	548,900	312
	計	89			514,264	303
益田市 (美都)	雌	1	551,100		551,100	353
	去勢	0				
	計	1			551,100	353
益田市 (匹見)	雌	1	374,000		374,000	290
	去勢	3	540,100	418,000	486,933	294
	計	4			458,700	293
津和野町 (津和野)	雌	1	476,300		476,300	316
	去勢	3	570,900	147,400	423,500	298
	計	4			436,700	303
津和野町 (日原)	雌	2	814,000	741,000	797,500	316
	去勢	5	569,800	493,900	541,860	310
	計	7			614,900	312
吉賀町 (柿木)	雌	2	403,700	129,800	266,750	251
	去勢	0				
	計	2			266,750	251
吉賀町 (六日市)	雌	0				
	去勢	2	534,600	531,300	532,950	344
	計	2			532,950	344
西部市場 総合計	雌	63	814,000	129,800	456,500	288
	去勢	81	823,900	147,400	539,512	311
	計	145			501,388	301

## 11月の子牛市場

## 畜産



令和5年最後となる11月の西部家畜市場が11月14日、雌63頭、去勢81頭、計144頭の上場により開設されました。年始から全国的な相場の下落が続く中、11月に入ってから全国の相場が上昇傾向であった為、市場価格の上昇が期待されました。平均価格が雌456千円(前回比108%)、去勢539千円(前回比99%)、計501千円(前回比103%)と、前回市場より雌が34千円ほど上昇したものの、去勢がやや下げ、平均でほぼ横ばいの動きとなりました。

今後とも購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼い方マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

今回の市場開設日は令和6年1月16日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は寒冷対策などをおこない、事故や疾病等無いよう、お願い致します。



## 津和野青年クラブと女性部の餅つき

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）と西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は11月19日、JAしまね津和野支店前で餅つきを行いました。

今年は「太鼓谷稲成神社御鎮座250年」の式年大祭が行われるのに併せて実施したもので、青年クラブからの声掛けによって津和野高校生も参加し賑やかに行われました。

杵でつく餅つきの音に行き交う人も足を止め、飛び入りで参加する観光客もあり慣れない餅つきには周囲からの笑い声が響いていました。



参加した高校生からは「お餅を丸めるのが難しい。参加して楽しかった」などの感想を聞くことができました。

## 益田グリーンセンター 大感謝祭開催



JAしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは11月17日・18日の両日、大感謝祭を開催しました。

農業資材や日用品、トラクターなど大型農機も展示し、2日間で約300人の方にご来場をいただきました。

当日はタマネギの栽培講習会も開催され、定植を終えて収穫までの管理について留意すべき点等の説明があり、受講された方は熱心に聴き入っていました。



## 畑迫生活展開催

畑迫生活展実行委員会と畑迫公民館は11月19日、畑迫体育館で第50回「畑迫生活展」を開催しました。当日は農産物の品評会・子どもたちの絵の展示や演芸も行われ、会場は盛り上がりました。

実行委員会の中谷信一さんは「50回という節目の生活展を賑やかに開催することができた。来場された皆さんに楽しんでもらえて良かった。これからも続けていきたい」と話しました。





## J Aしまね西いわみ地区本部 組合員親睦ゴルフコンペ開催

J Aしまね西いわみ地区本部は10月28日、管内の組合員100人の参加をいただき、萩・石見カントリー倶楽部で組合員の親睦ゴルフコンペを開催しました。  
ベストグロススコアが79とハイレベルな中にも珍プレー好プレーもあり、参加者はお互いに声を掛け合いながら終始和やかな雰囲気の中で18ホールに挑み、充実した楽しい秋の一日を満喫していただきました。



## 西いわみぶどう部会 通常総会

J Aしまね西いわみぶどう部会（岩本和雄部会長）は11月17日、J Aしまね西いわみ地区本部会議室で第25回通常総会を開催しました。  
岩本部会長の挨拶に続き、第38回島根ぶどう園コンクールにおいて受賞された優績者表彰を行い、総会の議案審議は能地利典さんが議長に就任し全ての議案が可決承認されました。  
第4号議案役員改選では、任期満了となった岩本部会長の後任に大場耕造さんを選任し、令和6年に向けて新体制がスタートしました。



新執行部体制

### 第38回島根ぶどう園コンクール受賞者 デラウェア後期加温等作型（6月出荷園）

農林水産大臣賞	竹内 好則
島根県果樹研究同志会長賞	福原 智宏

### 優績者J A表彰

デラウェアの部	森原 孝
シャインマスカットの部	森原 孝
巨峰の部	豊田 証治
ピオーネの部	竹内 直実
加工ぶどうの部	澤江 浩一





## 令和5年度 地域貢献・地域活性化団体活動表彰 「母ちゃんの何でも市」

JAしまね（石川寿樹組合長）が進める地域貢献・地域活性化支援事業において、「母ちゃんの何でも市」（水津富子代表）の活動が評価され団体活動表彰を受賞しました。

11月15日、六日市支店（森本司支店長）会議室において、水津代表をはじめ10人の会員の皆さんが出席し、表彰式が行われ西いわみ地区本部椋木鉄也統括部長から水津代表に表彰状が手渡されました。

平成15年に設立されたふれあいサロンでの百歳体操等の活動に始まり、地元産の旬の食材を使った食事の提供や野菜の販売を行うなど、地域の活性化に貢献された団体として高く評価されたものです。



## 農業資金説明会 & 個別相談会 を開催します

対象者／農業者、集落営農組合、農業生産法人等

益田市会場	と き	令和6年2月1日(木) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	と ころ	西いわみ地区本部 3階会議室
津和野町会場	と き	令和6年2月2日(金) 10:00~11:30 資金説明 11:30~12:00 個別相談
	と ころ	津和野支店 経済センター 2階会議室
吉賀町会場	と き	令和6年2月2日(金) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	と ころ	六日市支店 2階会議室

こんなお悩み  
ありませんか？



- 資金の種類がありすぎて、どの資金がいいのかわからない…
- 機械の更新をしたいけど、低利な資金は無いかなあ…
- 事業の拡大をしたいけど、運転資金が不足しそうだなあ…

資金の種類、特性、仕組み等を分かり易くご説明致します！

個別相談をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します  
連絡先：JAしまね 西いわみ地区本部 益田中央支店 融資課 (0856-22-1590)  
または、お近くの支店まで

**参加  
無料**

※説明会・相談会で取り扱ったお客様に関する情報は他の目的への使用を厳禁とし、本説明会・相談会の関連団体以外には一切提供いたしません



# 年末年始業務のお知らせ

この一年ご愛顧いただきまして  
ありがとうございました。

**一般業務は12月30日から1月3日まで休業いたします。**

信用業務	
12月30日～1月3日	窓口業務は休業します。ATM稼働時間については下記の表をご確認ください。

共済業務	
12月30日～1月3日	<p>窓口業務は休業します。交通事故については下記へ連絡してください。</p> <p><b>フリーダイヤル安心サービス</b> <span style="float: right;"><b>24時間 365日受付</b></span></p> <p> <small>事故等の 場合には</small> <small>【JA共済事故受付センター】</small> <small>ジ コ は ク ミ アイ</small> <b>0120-258-931</b> <small>レッカー移動や 故障時の応急対応が 必要な場合には</small> <small>【JA共済サポートセンター】</small> <small>レッカーロードサービスは ク ミ アイ</small> <b>0120-063-931</b> </p>

グリーンセンター	
益田・津和野・日原・六日市・柿木事業所	
12月29日	休業（棚卸のため）
12月30日～1月3日	休業します。
1月4日	通常通り営業します。

店 舗	
<b>Aコープラボ・Aコープますだ中央</b>	
12月29日～31日	営業します。（午前9時から午後7時まで。但し31日は午後6時まで）
1月1日～1月2日	休業します。
1月3日	初売り（午前10時から午後5時まで）
1月4日	通常通り営業します。
Aコープラボ、Aコープますだ中央とも、12月28日～30日はカードポイント10倍セールを実施します。	
<b>めいふる（匹見）</b>	
12月30日～1月4日	休業します。
1月5日	通常通り営業します。

給油所	
<b>ジャスポーツ西いわみ店・益田店</b>	
年末年始も通常通り営業します。（午前6時から午後10時まで）	
<b>匹見SS</b>	
12月31日～1月3日	休業します。
1月4日	通常通り営業します。

## 年末年始のATM稼働についてのお知らせ

月 日	曜日	稼働形態	稼働時間
12月30日	土	年末の扱い	8:45～17:00
12月31日	日	年末の扱い	9:00～17:00
1月1日	月	年始の扱い	9:00～17:00
1月2日	火	年始の扱い	9:00～17:00
1月3日	水	年始の扱い	9:00～17:00



※コーナー以外のJAしまねATMについては、ATMコーナーにより営業日、営業時間が異なります。  
詳しくはJAしまねHPをご覧ください。





# JAの普通傷害共済

突然のアクシデントに対応～あなたの愛する人やあなたの暮らしを頼もしくバックアップ～

## 1万人集団契約で共済掛金割安のチャンス!!

○手続きは簡単！診査は不要です！

ご加入の際は、医師の診査は必要ありません。所定の申込書に簡単な告知をしていただくだけでOKです。

○治療中でも共済金をお受け取り  
になれます!!

災害でケガをされ、入院または通院された場合、そのケガの部位と症状が確認できれば共済金をお支払いしますのでスピーディにお受け取りできます。\*一定の条件があります。

共済種類A型・職業区分1級・10,000人以上の集団加入の場合

共済期間1年、1被共済者につき

共済掛金例	コース	死亡共済金額	部位・症状別治療共済金額	共済掛金
0歳～69歳	おすすめコース	600万円	5,000円	13,740円
70歳～80歳	おすすめコース	500万円	2,000円	7,940円
81歳～99歳 (職業にかかわらず)	おすすめコース	50万円	2,000円	8,850円

\* 共済種類はA型・B型がございます。また、職業・職種区分についての詳細はJAまでお問い合わせください。

(令和5年4月現在)

\* 団体加入・個人加入の場合は共済掛金が異なります。

### お支払例

上記加入例600万円コースの場合・・・支払倍率表によりお支払します。

●災害を受けた日から200日以内に入院したとき、  
または入院しなかった場合で、通院した日数が5日以上とき

**部位・症状別治療共済金額 × 支払倍率表の倍率**

バイクで転倒して頭を打撲し、5日以上通院したとき… **25,000円**  
『頭部』『打撲』⇒部位・症状別治療共済金額の「5倍」

階段から落ちて腕を骨折、5日以上通院したとき… **175,000円**  
『上肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「35倍」

交通事故で足を骨折し、入院したとき… **325,000円**  
『下肢』『骨折』⇒部位・症状別治療共済金額の「65倍」

●災害を受けた日から200日以内に入院しなかった場合で、  
通院した日数が5日未満で治療が完了したとき

**部位・症状別治療共済金額 × 2倍**



## 0歳～99歳までご家族そろって加入しましょう!

JAしまね

お近くの  
支店・事業所にて  
ご相談をお待ちして  
おります。

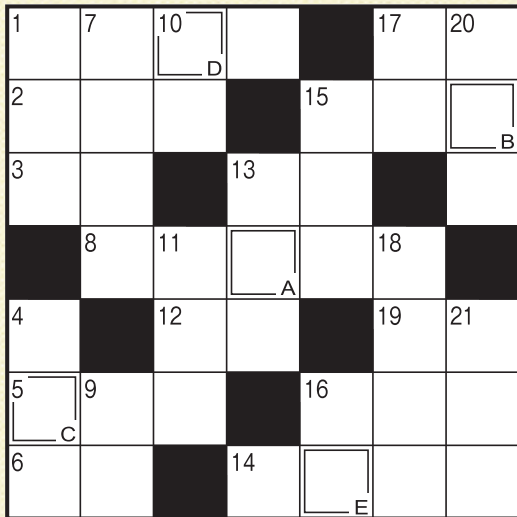
- \* この共済の共済期間は1年間です。ご契約者からこの共済を継続しない旨の意思表示がない限り、同一の契約内容で自動的に継続されます。
- \* ご契約いただく共済金額の設定などについては、次の点にご注意ください。
- ①部位・症状別治療共済金額は、死亡共済金額との関係で上限が設定されます。②ご契約金額は、被共済者の年齢に応じ、加入限度が設定されることがあります。
- また、実際にご契約いただく場合の共済金額については、申込書でご確認ください。
- \* この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。またご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「傷害共済約款」を必ずご覧ください。

23320320044



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコロ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①大学入学共通テストの理科の科目の1つ
- ④キウイやポンカンの生産量が日本一の県
- ⑦エッセーともいいます
- ⑨かつお節や昆布で取ります
- ⑩ガラガラとうがいをして洗うもの
- ⑪ゆでた麺をざるにあげて行います
- ⑬大股の人は広めです
- ⑮カメヤカッパの背に付いています
- ⑯——や硯(すずり)を用意して書き初めをした
- ⑰カラオケで楽しむもの
- ⑱——の計は元旦にあり
- ⑳旧暦1月の異称
- ㉑見張ること。——カメラ

ヨコのカギ

- ①おせち料理にも使うニシンの卵巣の加工品
- ②旅行前に——ブックを買った
- ③俳人が名作を生み出した地に建てられていることも
- ⑤北を向いたとき西になる方向
- ⑥丁寧にいうとご飯です
- ⑧横綱を先導して土俵に上がります
- ⑫セイウチの口からよっきり
- ⑬農地——、道路交通——
- ⑭DNAが含まれる体の設計図。——操作
- ⑮猫が中で丸くなっているかも
- ⑯不要物を可燃、——、資源ごみに分別した
- ⑰彼女は——を言わず彼を外に連れ出した
- ⑱エレベーターの表示では「B」

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2024年1月5日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で52人の方からご応募いただきました。

◆ 先月号の答え ◆

「シクラメン」



川柳の広場

最優秀賞

誉め上手みんな笑顔にする妙技

出雲市 北村 功様

優秀賞

八冠を達成してもシャイな棋士

安来市 斎藤美重子様

何を着よう女が迷う服の数

奥出雲町 堀江 英子様

ありがとう今日も感謝の幕下ろす

出雲市 佐野美和子様

佳作

止り木の駆でみつけた旬の食  
法事終え心やすらか日が終る  
草と虫戦い続く里住まい  
私は我人は人よと割り切れず  
親衆も皆スサノオとなる神楽

松江 後藤 竹子様  
出雲市 青山 孝子様  
江津市 山形ゆうき様  
隠岐の島 上川 晃一様  
兵庫 小田 慶喜様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」1月号定価 922円  
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）1月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法  
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先  
〒690-0887 松江市殿町19-1  
JAしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
FAX：0852-67-7708  
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

選句者 島根県川柳連盟会長  
竹治ちかし先生



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

# 知って得する！ 農業者年金



終身年金で  
安心！

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金

「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

■ 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

■ 一定の要件を満たす方には、  
月額最大 **1万円の保険料補助**

■ 保険料は**全額社会保険料控除の対象**  
など、生涯を通じて大きな節税効果！

詳しくは…    
<https://www.nounen.go.jp>

※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。

- ・年間60日以上農業に従事している方で、
- ・国民年金第1号被保険者（60歳未満）又は、  
国民年金の任意加入者（60歳以上65歳未満）

※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



## 全国の旬のおいしさをお届けするJAグループの頒布会



年1回のお申込みで、毎月カタログからお選びいただいた商品をお届けします。  
毎月旬の味覚が届く1年間をお楽しみください。

果物、野菜、お肉といった国産農産物や、それらを使ったお惣菜やスイーツに加え、  
全国各地の名産品やお花も取り揃えています。旬の果物の味を楽しむ、遠方の名産品を旅行気分を楽しむ、お花を見て楽しむなど、様々な楽しみ方が可能です。



チャンスは2回!

全国で合計600名様に抽選で  
「鮭といくら醤油漬」をプレゼント!

景品は  
こちら



### 1 年間利用者キャンペーン

2024年度「旬鮮倶楽部」を年間通じて  
12か月以上、**2024年1月31日(水)**  
までにご注文いただいた方。 **抽選で 300名**

### 2 WEBアンケートキャンペーン

2024年度4月お届け商品に同封する文書に記載の  
二次元バーコードまたはURLからアクセスし、  
WEBアンケートにご回答いただいた方。 **抽選で 300名**

「旬鮮倶楽部」のカタログのご希望、ご質問、お申し込みはお近くのJAへお問合せください。



## 人参ライスとリースサラダ



### コメント

- 人参が苦手な方でもこれなら食べられること間違いなし！人参パワーをいただきますよ！
- 家にある調味料で簡単にできるドレッシングです！さっぱりしているのでどんな野菜にも合います。

### アレンジ

- 鶏肉や玉ねぎを入れて炊飯すれば、チキンライスにもなります。
- ベビーリーフの代わりに水菜やレタス、ゆでたブロッコリー、リボン状に薄くスライスした大根や人参もOK！

### 材料 (4人分)

- ◆人参ライス
  - 米……………2合
  - 人参……………1/2本
  - コンソメ……………小さじ2
  - 刻みパセリ……………適量
- ◆リースサラダ
  - ベビーリーフ……………2袋
  - 生ハム……………8枚
  - スモークサーモン……………4枚
  - キャンディーチーズ……………8個

### 作り方

- ◆人参ライス
  - ①人参は皮をむいてすりおろす。
  - ②炊飯器に洗米した米を入れ、少し硬めの水加減にする。
  - ③②にコンソメを入れて、ひと混ぜしたら①のすりおろした人参を加えて炊飯する。
  - ④炊き上がったら、大きく混ぜて皿に盛り、パセリを散らす。
- ◆リースサラダ
  - ①大皿にベビーリーフをリースのように盛る。
  - ②生ハムは半分に折り、スモークサーモンと組み合わせ、バラの花のようにする巻く。同様に全部で8個作る。
  - ③①のリースの上に②とキャンディーチーズを彩りよくのせる。
  - ④Aの調味料を混ぜ合わせてかける。

### 材料 (4~6人分)

- 合挽肉……………700g
- 卵(S)……………2個
- パン粉…1カップ(45g)
- 牛乳……………50cc
- 玉ねぎ(大)……………1個
- バター……………10g
- ウスターソース…大さじ2
- ブランデー……………大さじ1
- 塩……………小さじ1.5
- こしょう……………少々
- ケチャップ……………大さじ3
- ウスターソース…大さじ1
- 赤ワイン……………大さじ1
- しょうゆ……………小さじ1
- ブロッコリー……………1株
- ミニトマト……………5~10個

### 作り方

- ①玉ねぎはみじん切りにし、耐熱皿入れ、その上にバターをのせて軽くラップをかけて、レンジ(600w)で6分加熱して冷ましておく。
- ②パン粉は牛乳にひたして、湿らせておく。
- ③合挽肉を50度のお湯につけて、ザルにあげ、手で押して水気をしっかりきる。(余分な脂を除くことで、胃にやさしい仕上がりになります。)
- ④ボウルに①②③、卵とAを入れ、手でよく混ぜる。
- ⑤天板にクッキングシートを敷き、④を細長いかまぼこ型にまとめ中央に置く。
- ⑥Bを混ぜ合わせ、⑤の肉の表面にかけて、指で全体に塗り広げる。
- ⑦180度に熱したオーブンで40~45分間焼く。
- ⑧竹串を刺して、澄んだ肉汁が出ればOK！
- ⑨オーブンから取り出し、粗熱が取れたら、1~2cmの厚さに切って、ゆでたブロッコリー、ミニトマトと一緒に盛り付ける。

## ミートローフ



### コメント

- 混ぜて焼くだけ！あとはオープンにお任せ！簡単レシピです。
- 身近な食材で、見た目豪華な演出ができるミートローフは、年末年始の集まりにぴったり！

### アレンジ

- 塩を減らして味噌を混ぜると、コクが増し和風味になります。
- 具材はゆでた人参やいんげん、カリフラワー、ゆで卵、黒オリーブなどを入れると断面が華やかです。

## 健康散歩

## お酒のはなし

私たちの身体は年齢を重ねると、アルコールの影響を受けやすくなります。その理由は、体内の水分量の減少や胃粘膜の老化などにより、アルコールの分解・吸収機能が低下するためです。若い人と同じ量のお酒を飲んでも血中アルコール濃度が高くなる傾向があるため、高血圧や脳卒中のリスクも高まります。また、年を取ると認知機能も低下し、自分の適量が把握できず飲みすぎてしまうケースも少なくありません。



一般的な「お酒の適量」とはどのくらいなのでしょう？個人差はありますが、厚生労働省が推奨する適切な飲酒量とは、一日平均で純アルコール摂取量20g程度とされています。例えば、ビール(5%)中瓶1本、酎ハイ(7%)350ml1本、ワイン(12%)グラス2杯、日本酒(15%)1合、焼酎(25%)100ml1杯、ウイスキー(40%)ダブル1杯です。

また、お酒の適量とは別に次のような点も注意が必要です。

- みんなが同じように飲めるわけではない  
日本人の約40%の人がアルコールを分解する機能が弱く、約4%の人は全くお酒が飲めないと言われています。飲めない人のためにノンアルコールや清涼飲料を用意しておく気遣いも忘れずに。
- お酒の失敗は取り返しがつかないことも  
お酒を飲むことによって悪い方向に人格が変わるようであれば、周囲が確実に離れていきます。また、公共の場所で酔って暴言を吐いたり、他人に絡んだりなどの迷惑行為は法律で禁じられています。

これから年末年始を迎え、お酒を飲む機会が増えていきます。身体に優しく、誰もが楽しいお酒の席になるようにしましょう。



【編集後記】 寒くなってくと現れるカメムシ。今年は昨年に比べて大量発生している気がしています☹️暖房をつけたい気持ちはありますが、部屋を暖めるとどこからか出てくるので布団にくるまって寒さをしのいでいる今日この頃。捕まえるためのガムテープが手放せません！さて今年も残すところあとわずかになりました。よいお年をお迎えください(古)

JAしまね  
公式ホームページ  
JAしまね  
検索